

新年のごあいさつ

謹賀 新年



大府市長
岡村 秀人

明けましておめでとうございます。皆さまには
明るい希望に満ちた新年を迎えられたことと、心
よりお慶び申し上げます。

昨年は、本市ゆかりの五輪金メダリストの吉田
秀彦さんと吉田沙保里さんに大府市広報大使に就
任いただき、大府の特産品や魅力のPRにご協力
いただいております。お二人には、今後さらなる
ご活躍を期待しております。

さて、国全体が本格的な人口減少社会へ突入し
ている中、本市におきましては、現在も年間約800
人程度の人口が増加しており、子育て世代の流入
も多く、元気なまちとして躍進しております。

こうした状況の中で高まる保育需要や教育需要
に対し、昨年からは、産後ケア事業や認定保育室利
用者の第2子への補助拡大、放課後クラブ開所時
間の延長、中学生の英語検定料補助や学習支援な
どの事業を新たに開始し、子育て支援を充実して
まいりました。今後、私立保育園の誘致や公立保
育園建替えにより、保育の受け皿をさらに確保し
てまいります。

また、我が国は男女とも世界第2位の長寿国で
あります。人生100年時代を見据え、全国初とな

る「大府市認知症に対する不安のないまちづくり
推進条例」を制定し、本年4月に施行いたします。
市民の皆さま、地域組織、事業者、国立長寿医療
研究センターなどの関係機関と一体となって、認
知症の人にやさしいまちの実現を目指し、効果的
な施策を進めてまいります。

そして、JR大府駅構内に、タニタカフエや
観光案内、特産品販売などの機能を持つ健康に
ぎわいステーション「KURUTTOおおぶ」が4
月にオープンいたします。駅周辺のにぎわいづく
り、健康づくりの拠点として、さまざまなか
コトを発信してまいりますので、ご期待いただき
たいと思います。さらに、市役所でのパスポート
の交付開始や発達支援センター「みのり」の開設、
2020年度から11年間の市政経営の方針となる
「第6次大府市総合計画」の策定始動など、多様な
事業を展開してまいります。

本年も、日本一元気な健康都市の実現に向け
て、全力で取り組んでまいりますので、市政運営
に一層のご協力をお願い申し上げます。皆さまに
とって、本年が実り多き年となりますよう祈念申
し上げ、新年のごあいさついたします。



大府市議会議長 早川 高光

明けましておめでとうございます。
市民の皆さまにおかれましては、健やかで希望に満ちた新しい年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

昨年5月より、大府市議会議長という要職を拝命し、早くも7カ月余りを経過しましたが、大府市の発展と円滑な議会の運営に、微力ながらも尽力してまいりました。

さて、昨年の大府市での話題を思い返しますと、大府市広報大使制度が創設され、第一号となる広報大使に、バルセロナオリンピック金メダリストの吉田秀彦さんと、アテネ・北京・ロンドンオリンピックにおいて3大会連続の金メダリストでもある吉田沙保里さんが就任されました。また、11月に行われた大府シティ健康マラソン大会において、使用済み携帯電話、パソコンに含まれる金、銀で作られたリサイクル金メダルを授与したことや、知多半島でも初の開催となった大府市高校生議会など、初めての試みが多い年でもありました。

市議会においては、昨年は、議員からの提案条例である『健康都市おおぶ』みんなの健康づくり

推進条例」および「大府市議会の議員の議員報酬等の特例に関する条例」を制定し、大府市政の発展に積極的に取り組んでまいりました。また、「大府市議会インターネット録画中継」を、スマートフォン、タブレット端末からでもご覧いただくことができるような仕組みへの変更や、年4回発行している「おおぶ議会だより」のレイアウトの見直しなど、市民の皆さまにとって、より親しみやすい、開かれた議会に向けて、日々議論を重ね、努力してまいりました。

新しい年を迎えましても、その姿勢を変えることなく、明るく、住み良い「健康都市おおぶ」を実現するために、議会が丸となって尽力してまいります。よろしくお願いいたします。

結びといたしまして、市民の皆さまには、今後ともより一層の御支援、御協力をお願い申し上げますとともに、本年が皆さまにとって実りある幸せな一年となりますことをお祈り申し上げます。議会を代表しての年頭のごあいさつといたします。

本年もよろしくお願ひ申し上げます